

国内四半期自転車生産・輸出入状況 (2020年1～3月)

はじめに

本稿は、我が国の自転車生産・輸出入の変化の模様を的確に把握するため、四半期毎の動きに焦点を当て、特に対前年同期との比較を主体として調査を行ったものである。但し、前年同期との比較を主体とするとはいうものの、自転車販売には季節性がある事も考慮する必要がある。

2020年1～3月期の我が国の自転車生産状況は、総生産台数・総生産金額が前年同期を下回り総生産平均単価は上昇した。また2020年1～3期の我が国の自転車輸入状況については、「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の輸入は総輸入台数・総輸入金額が対前年同期比大幅減、総輸入平均単価については対前年同期比若干上昇という状況が示されている。

1. 我が国の自転車生産

1-1 総合的生産状況

経済産業省生産動態統計調査によると、2020年1～3月期の我が国の完成自転車総生産台数は229,180台であり、前年同期と比較すると10.5%減少した。四半期毎総生産台数は対前年同期比で見ると過去2四半期は増加していたが、今四半期は減少に転じた。2020年1～3月期の229,180台という数値は、対象8四半期の中では平均的な数値である。これらの模様を、過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-1及び表1-1-2に示す。

表1-1-1 我が国自転車総生産台数の動向

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
総生産台数(台)	195,377	179,318	253,272	229,180
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
総生産台数(台)	205,311	170,623	226,169	256,111

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は確定後遡及修正反映数値 2019年数値は確定値）

加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会 以下、生産統計数値は全て同様。

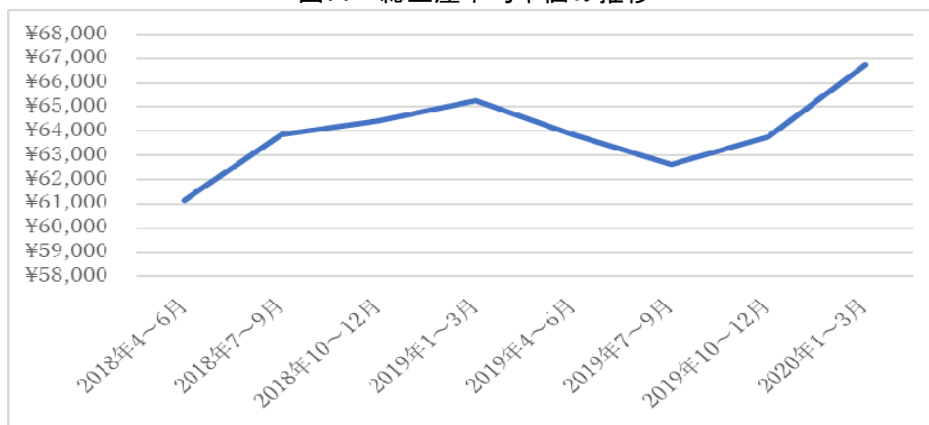
表1-1-2 我が国自転車総生産台数の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(台)	-9,934	+8,695	+27,103	-26,931
前年同期比(%)	-4.8	+5.1	+12.0	-10.5

総生産台数は、過去2四半期は対前年同期比で増加したものの、今四半期は減少に転じた。当協会が実施している自転車国内販売動向調査によると、2019年10月月報及び2019年11月月報には小売店における消費税増税後の販売減少の様子が示されている。更に2020年2月月報には新型コロナウイルスの影響で来店客数が減り春需が感じられない、という小売店主の声も紹介されている。これらの要因が国内の自転車生産に影響しているのかもしれない。

続いて総生産平均単価を見る。対象としている2018年4～6月期から2020年1～3月期までの8四半期の総生産平均単価の推移を図Aに示す。

図A 総生産平均単価の推移



総生産平均単価は2019年1～3月期迄は上昇傾向にあったが、その後2019年7～9月期にかけて下落した。その後再び上昇に転じ今四半期は対象8四半期の中では最高となっている。

次に総生産平均単価の動向の様態を過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-3及び表1-1-4に示す。2020年1～3月期の完成自転車生産平均単価は66,765円となっており、前年同期の65,266円から2.3%上昇した。

表1-1-3 我が国自転車総生産平均単価の動向

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
平均単価(円)	63,866	62,619	63,769	66,765
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
平均単価(円)	61,168	63,847	64,419	65,266

表1-1-4 我が国自転車総生産平均単価の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(円)	+2,698	-1,228	-649	+1,499
前年同期比%	+4.4	-1.9	-1.0	+2.3

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。以下同様。

更に総生産金額について見てみると、2020年1～3月の完成自転車総生産金額は153億114万3千円で、前年同期と比較すると8.5%減少した。これらの様態をやはり過去4四半期にまでさかのぼり表1-1-5及び表1-1-6に示す。

表1-1-5 我が国自転車総生産金額の動向

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
総生産金額(千円)	12,478,014	11,228,708	16,151,026	15,301,143
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
総生産金額(千円)	12,558,438	10,893,845	14,569,578	16,715,347

表 1-1-6 我が国自転車総生産金額の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(千円)	-80,424	+334,863	+1,581,448	-1,414,204
前年同期比%	-0.6	+3.1	+10.9	-8.5

1-2 車種別生産状況

以下に車種別の生産状況を見ていくが、経済産業省生産動態統計調査における自転車の車種区分は、「軽快車」「電動アシスト車」「その他」の三つである。2020年1～3月期は前年同期と比較し、三つの車種とも生産台数・生産金額が減少し、生産平均単価は上昇という状況が示されている。

1-2-1 「軽快車」の生産状況

まず、「軽快車」の生産状況を以下に示す。2020年1～3月期には生産台数が前年同期に対し2.9%減少したことがわかる。「軽快車」の生産は秋から冬にかけて盛んで、春から夏にかけて低調であることがよくわかる。

表 1-2-1-1 「軽快車」の生産台数の動向

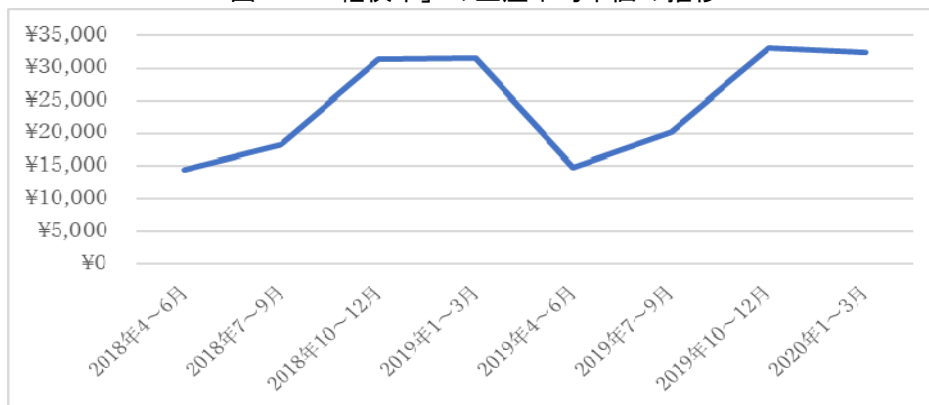
四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
生産台数(台)	35,450	38,362	74,306	76,380
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
生産台数(台)	39,428	35,483	76,115	78,625

表 1-2-1-2 「軽快車」の生産台数の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(台)	-3,978	+2,879	-1,809	-2,245
前年同期比%	-10.1	+8.1	-2.4	-2.9

続いて「軽快車」の生産平均単価を見る。対象としている2018年4～6月期から2020年1～3月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Bに示す。季節性が大変強く表れており、「軽快車」の生産は、秋から冬にかけて比較的高価なものを生産し、春から夏にかけては比較的安価なものを生産するという特徴がよくわかる。

図B 「軽快車」の生産平均単価の推移



次に「軽快車」の生産平均単価の動向の様相を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-1-3及び表1-2-1-4に示す。2020年1～3月期の「軽快車」の生産平均単価は

32,465円となっており、前年同期の31,656円から2.6%上昇した事がわかる。前年同期と比較した生産平均単価は継続して上昇していることもわかる。また後述する「軽快車」の輸入平均単価と比べると、2020年1～3月期の生産平均単価は3.2倍弱となっている。この「軽快車」の生産平均単価と輸入平均単価の差異は、2019年10～12月期が3.3倍弱、2019年7～9月期が2.4倍弱、2019年4～6月期は1.7倍弱であり、秋から冬のほうがその差が大きくなっている。生産平均単価の季節変動は輸入平均単価の季節変動よりも大きいとも言える。

表1-2-1-3 「軽快車」の生産平均単価の動向

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
平均単価(円)	14,755	20,195	33,138	32,465
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
平均単価(円)	14,505	18,265	31,406	31,656

表1-2-1-4 「軽快車」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(円)	+250	+1,930	+1,732	+809
前年同期比%	+1.7	+10.6	+5.5	+2.6

更に生産金額について見てみると、2020年1～3月期の「軽快車」の生産金額は24億7,964万4千円で前年同期と比較すると0.4%減少した事が示されている。

表1-2-1-5 「軽快車」の生産金額の動向

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
生産金額(千円)	523,065	774,710	2,462,332	2,479,644
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
生産金額(千円)	571,915	648,092	2,390,458	2,488,955

表1-2-1-6 「軽快車」の生産金額の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(千円)	-48,850	+126,618	+71,874	-9,311
前年同期比%	-8.5	+19.5	+3.0	-0.4

1-2-2 「電動アシスト車」の生産状況

「電動アシスト車」の生産状況を以下に示す。まず生産台数は、2020年1～3月期には対前年同期比13.6%減少したことがわかる。前年同期と比較した生産台数は前四半期には20%以上増加していたが、今四半期は減少に転じている。2020年1～3月期の生産台数は対象8四半期の中では平均的な水準である。

表1-2-2-1 「電動アシスト車」の生産台数の動向

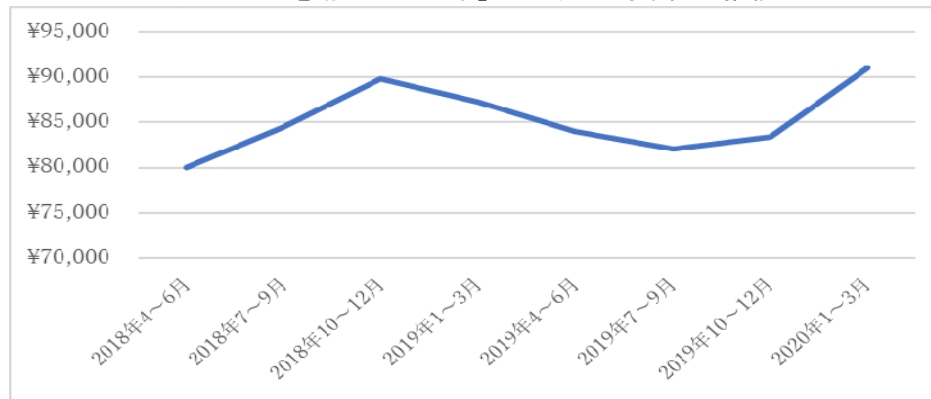
四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
生産台数(台)	136,258	122,408	157,552	136,752
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
生産台数(台)	143,578	115,895	131,063	158,319

表1-2-2-2 「電動アシスト車」の生産台数の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(台)	-7,320	+6,513	+26,489	-21,567
前年同期比%	-5.1	+5.6	+20.2	-13.6

続いて「電動アシスト車」の生産平均単価を見る。対象としている2018年4～6月期から2020年1～3月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Cに示す。2018年10～12月期を頂点として下落していたものが2019年7～9月期に底を打ち、その後上昇に転じ今四半期は対象8四半期の中では最高となっている。

図C 「電動アシスト車」の生産平均単価の推移



次に「電動アシスト車」の生産平均単価の動向の様相を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-2-3及び表1-2-2-4に示す。2020年1～3月期の「電動アシスト車」の生産平均単価は91,090円となっており、前年同期の87,324円から4.3%上昇した事がわかる。対前年同期と比較した生産平均単価は、前四半期は7.2%下落していたが、今四半期は上昇に転じた。前述のとおり今四半期の生産平均単価は対象8四半期の中で最高である。

表1-2-2-3 「電動アシスト車」の生産平均単価の動向

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
平均単価(円)	84,083	82,032	83,414	91,090
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
平均単価(円)	79,993	84,553	89,872	87,324

表1-2-2-4 「電動アシスト車」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(円)	+4,090	-2,521	-6,458	+3,767
前年同期比%	+5.1	-3.0	-7.2	+4.3

更に生産金額について見てみると、2020年1～3月の「電動アシスト車」の生産金額は124億5,680万6千円で、前年同期と比較すると9.9%減少した事が示されている。前四半期には対前年同期比11.6%上昇していたものが、今四半期は減少に転じた。これは2019年1～3月の生産金額が対象8四半期の中では最大であったことも影響している。

表1-2-2-5 「電動アシスト車」の生産金額の動向

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
生産金額(千円)	11,456,966	10,041,356	13,141,968	12,456,806
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
生産金額(千円)	11,485,212	9,799,290	11,778,855	13,824,976

表 1-2-2-6 「電動アシスト車」の生産金額の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(千円)	-28,246	+242,066	+1,363,113	-1,368,170
前年同期比%	-0.2	+2.5	+11.6	-9.9

1-2-3 「その他」の生産状況

「その他」の生産状況を以下に示す。まず2020年1~3月期の生産台数は、16,048台で対前年同期比16.3%と大きく減少した。今四半期の生産台数は対象8四半期の中で最低である。

表 1-2-3-1 「その他」の生産台数の動向

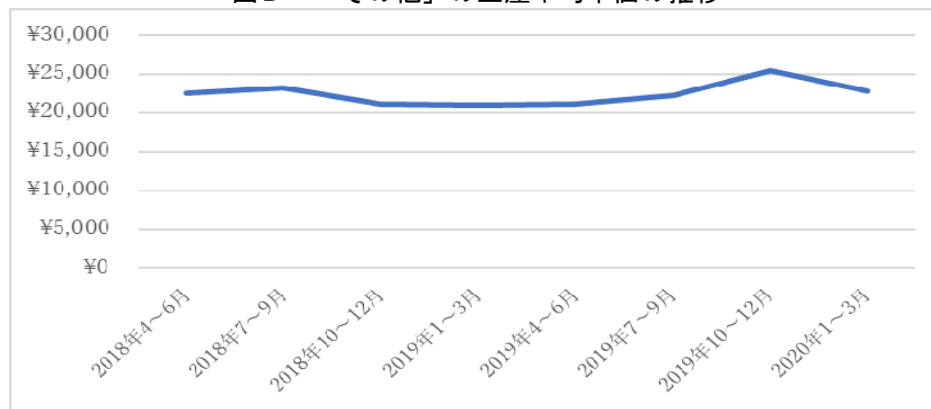
四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
生産台数(台)	23,669	18,548	21,414	16,048
前年同四半期	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月
生産台数(台)	22,305	19,245	18,991	19,167

表 1-2-3-2 「その他」の生産台数の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(台)	+1,364	-697	+2,423	-3,119
前年同期比%	+6.1	-3.6	+12.8	-16.3

続いて「その他」の生産平均単価を見る。対象としている2018年4~6月期から2020年1~3月期までの8四半期の生産平均単価の推移を図Dに示す。「軽快車」や「電動アシスト車」に比べ安定しているように見える。

図D 「その他」の生産平均単価の推移



次に「その他」の生産平均単価の動向の様態を過去4四半期にまでさかのぼり表1-2-3-3及び表1-2-3-4に示す。2020年1~3月期の「その他」の生産平均単価は22,725円となっており、前年同期の20,943円から8.5%上昇した。対前年同期と比較した生産平均単価は前四半期から上昇に転じている。

表 1-2-3-3 「その他」の生産平均単価の動向

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
平均単価(円)	21,039	22,247	25,531	22,725
前年同四半期	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月
平均単価(円)	22,475	23,199	21,077	20,943

表 1-2-3-4 「その他」の生産平均単価の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(円)	-1,436	-952	+4,455	+1,782
前年同期比%	-6.4	-4.1	+21.1	+8.5

更に生産金額について見てみると、2020年1~3月期の「その他」の生産金額は3億6,469万3千円で、前年同期と比較すると9.1%減少した。前四半期には対前年同期比36.6%も増加していたので、対照的な模様が示されている。

表 1-2-3-5 「その他」の生産金額の動向

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
生産金額(千円)	497,983	412,642	546,726	364,693
前年同四半期	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月
生産金額(千円)	501,311	446,463	400,265	401,416

表 1-2-3-6 「その他」の生産金額の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(千円)	-3,328	-33,821	+146,461	-36,723
前年同期比%	-0.7	-7.6	+36.6	-9.1

2. 我が国の自転車輸入

2-1 総合的輸入状況

まず、「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の我が国への輸入台数について示す。2020年1~3月期の総輸入台数は、表2-1-1に示す通り1,440,671台であった。前年同期と比較すると、表2-1-2に示す通り21.7%と大幅に減少した。この1,440,671台という数値は、2019年7~9月期の1,375,387台や2019年10~12月期の1,392,616台という数値とあまり変わらず、春需が殆ど輸入実績に表れていない、これまでにない状況である。前述のとおり当協会が実施している自転車国内販売動向調査によると、2020年2月月報には新型コロナウイルスの影響で来店客数が減り春需が感じられない、という小売店主の声も紹介されている。今回の輸入数値は、これら日本国内での市況に加え中国工場での生産状況も反映された結果であるものと思われる。

表 2-1-1 我が国自転車総輸入台数の動向

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
総輸入台数(台)	1,631,661	1,375,387	1,392,616	1,440,671
前年同四半期	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月
総輸入台数(台)	1,537,644	1,276,139	1,426,781	1,840,057

出典：財務省貿易統計(2018年2019年数値は確定後数値) 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
以下、輸入統計数値は全て同様。

表 2-1-2 我が国自転車総輸入台数の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(台)	+94,017	+99,248	-34,165	-399,386
前年同期比(%)	+6.1	+7.8	-2.4	-21.7

尚、参考までこの間のドル円為替レートを別表1に示しておく。

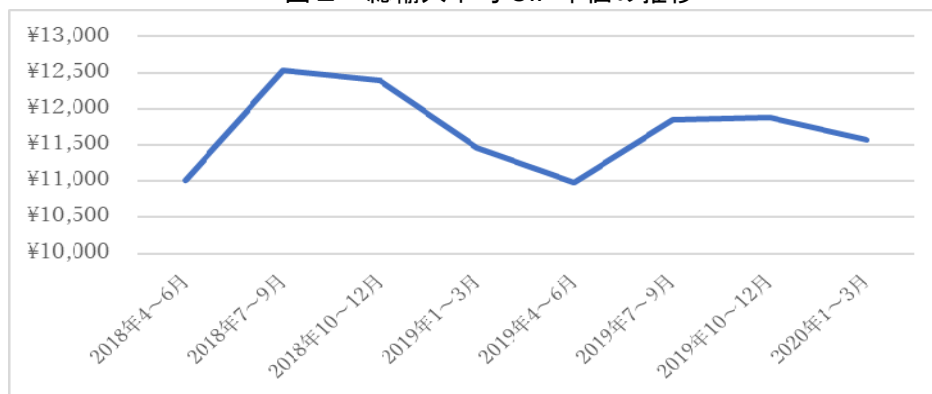
別表1 ドル円為替レート (税関長公示レート)

四半期別	1US\$=JPY
2018年4～6月	108.42
2018年7～9月	111.08
2018年10～12月	113.00
2019年1～3月	110.11
2019年4～6月	110.44
2019年7～9月	107.31
2019年10～12月	108.49
2020年1～3月	108.91

出典：公益財団法人日本関税協会 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会

次に「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を除く全ての車種の自転車の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている2018年4～6月期から2020年1～3月期までの8四半期の総輸入平均 CIF 単価の推移を図Eに示す。4～6月期が低いことは2018年2019年とも共通しているが7～9月期及び10～12月期の戻りが2019年は2018年に比べ弱いことがわかる。

図E 総輸入平均 CIF 単価の推移



続いて総輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2020年1～3月期の完成自転車輸入平均 CIF 単価は11,562円となっており、前年同期の11,454円から0.9%上昇した。総輸入平均 CIF 単価は前四半期まで3四半期連続で前年同期比に対して下落していたが、今四半期は若干ではあるが上昇した事もわかる。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼり表2-1-3及び表2-1-4に示す。

表2-1-3 我が国自転車総輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
平均 CIF 単価(円)	10,971	11,849	11,880	11,562
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
平均 CIF 単価(円)	11,000	12,534	12,400	11,454

表2-1-4 我が国自転車総輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(円)	-29	-685	-520	+108
前年同期比%	-0.3	-5.5	-4.2	+0.9

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。以下同様。

更に総輸入金額について見てみると、2020年1～3月期の完成自転車総輸入CIF金額は166億5,724万2千円となり前年同期比21.0%とやはり大きく減少した。台数の場合と同様、2020年1～3月期の数値は2019年7～9月期や2019年10～12月期と同水準と言ってよく、金額においても春需が輸入数値に表れていない。これらの模様を過去4四半期にまでさかのぼり表2-1-5及び表2-1-6に示す。

表2-1-5 我が国自転車総輸入CIF金額の動向

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
総輸入CIF金額(千円)	17,900,594	16,296,763	16,544,779	16,657,242
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
総輸入CIF金額(千円)	16,914,456	15,994,855	17,692,395	21,075,532

表2-1-6 我が国自転車総輸入CIF金額の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(千円)	+986,138	+301,908	-1,147,616	-4,418,290
前年同期比%	+5.8	+1.9	-6.5	-21.0

2-2 車種別輸入状況

我が国の輸入における関税番号及び車種については次の別表2の通り分類されている。電動アシスト車は独立した輸入関税区分が立てられておらず、モーターサイクルの中に「駆動原動機として電動機を有するもの」が区分されており、電動アシスト車はこの中に含まれているものと思われる。しかしこの区分には、電動オートバイも含まれているので注意が必要である。

別表2 輸入における車種区分 関税番号

関税番号/品名区分	車種
8712.00100 マウンテンバイク	・MTB(Vブレーキ・Diskブレーキ装着車を含む) ・クロスバイク
8712.00211 ミニサイクル	・ミニサイクル ・小径折りたたみ車 ・BMX
8712.00218 幼児車	・幼児車(12～16吋) ・乗用玩具(12吋二輪車) ・一輪車(12～16吋)
8712.00219 子供車	・子供車(18～24吋) ・Jr.MTB(18～24吋) ・一輪車(18～24吋)
8712.00291 軽快車	・軽快車(外装変速機付は含まない) ・シングル、内装変速機付スポーツ車
8712.00299 その他	・スポーツ車 ・外装変速機付軽快車 ・Jr.MTB(26吋)

8711.60000 駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル	・電動オートバイ、電動アシスト自転車がこの区分の中に含まれる
------------------------------------	--------------------------------

出典：一般財団法人自転車産業振興協会

以下に車種別輸入状況を示していくが、車種区分が比較的多いため、この中から「ミニサイクル」、底堅い需要のある「子供車」、重要と思われる「軽快車」及び「その他」、動向

が注目される「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」に限って内訳をみてゆく。

2-2-1 「ミニサイクル」の輸入状況

「ミニサイクル」の輸入状況を表2-2-1-1及び表2-2-1-2に示す。2020年1~3月期には輸入台数が前年同期比で2.6%減少したことが示されている。表2-2-1-2を横に見るとわかる通り、前四半期まで3四半期連続で増加が続いていたが、今四半期は僅かに減少した。

表2-2-1-1 「ミニサイクル」の輸入台数の動向

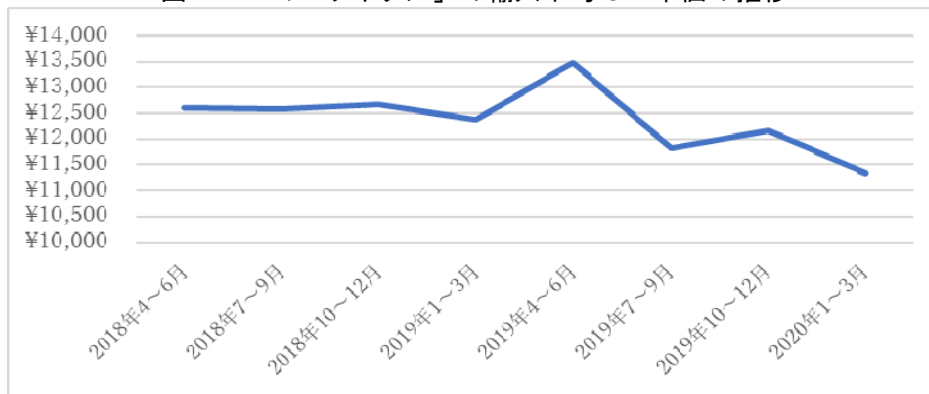
四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入台数(台)	76,990	62,279	63,597	68,702
前年同四半期	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月
輸入台数(台)	63,802	48,447	56,563	70,550

表2-2-1-2 「ミニサイクル」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(台)	+13,188	+13,832	+7,034	-1,848
前年同期比(%)	+20.7	+28.6	+12.4	-2.6

次に「ミニサイクル」の自転車の輸入平均CIF単価を見る。対象としている2018年4~6月期から2020年1~3月期までの8四半期の輸入平均CIF単価の推移を図Fに示す。2019年4~6月期が突出していたが、翌2019年7~9月期に大きく下落し2019年10~12月期は若干持ち直したものの、今四半期は再度下落を示している。

図F 「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の推移



続いて「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の四半期毎の推移を見ると、2020年1~3月期の完成自転車輸入平均CIF単価は11,335円となっており、前年同期の12,374円から8.4%下落した。前年同期と比較した平均CIF単価は3四半期連続して下落している。これらの模様を同じく過去4四半期にまでさかのぼり表2-2-1-3及び表2-2-1-4に示す。

表2-2-1-3 「ミニサイクル」の輸入平均CIF単価の動向

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
平均CIF単価(円)	13,471	11,831	12,176	11,335
前年同四半期	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月
平均CIF単価(円)	12,612	12,591	12,664	12,374

表 2-2-1-4 「ミニサイクル」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(円)	+859	-760	-488	-1,040
前年同期比%	+6.8	-6.0	-3.9	-8.4

更に輸入金額について見てみると、2020年1~3月期の「ミニサイクル」の輸入 CIF 金額は7億7,871万3千円となり前年同期比10.8%減少した。金額も前年同期との比較では台数の場合と同様、前四半期まで3四半期連続で増加が続いていたが、今四半期は減少した。

表 2-2-1-5 「ミニサイクル」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入 CIF 金額(千円)	1,037,158	736,818	774,329	778,713
前年同四半期	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月
輸入 CIF 金額(千円)	804,663	610,016	716,308	872,998

表 2-2-1-6 「ミニサイクル」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(千円)	+232,495	+126,802	+58,021	-94,285
前年同期比%	+28.9	+20.8	+8.1	-10.8

2-2-2 「子供車」の輸入状況

「子供車」の輸入状況を以下に示す。2020年1~3月期には輸入台数は248,815台となり、前四半期までの対前年比増加傾向から一転し、前年同期比30.7%と大幅に減少した。この248,815台という輸入台数は、ここで示した8四半期の中で最も少ない数値である。

表 2-2-2-1 「子供車」の輸入台数の動向

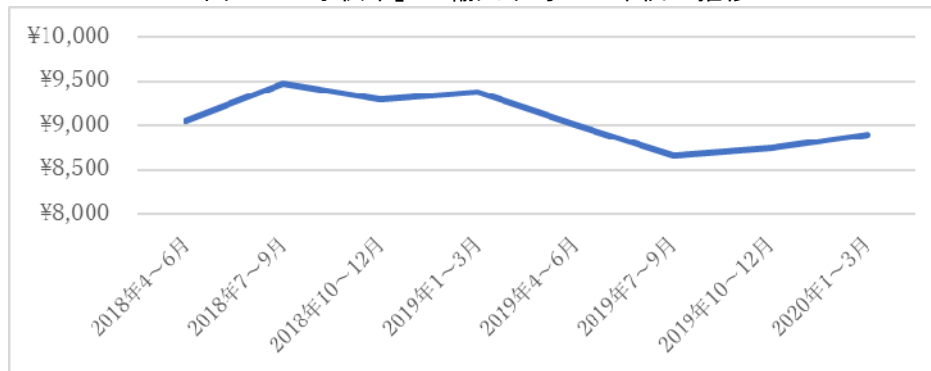
四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入台数(台)	449,883	357,722	343,683	248,815
前年同四半期	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月
輸入台数(台)	419,781	314,904	317,216	359,298

表 2-2-2-2 「子供車」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(台)	+30,102	+42,818	+26,467	-110,483
前年同期比(%)	+7.2	+13.6	+8.3	-30.7

次に「子供車」の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている2018年4~6月期から2020年1~3月期までの8四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図Gに示す。2019年7~9月期に底入れし、その後穏やかな上昇傾向にあるように見受けられる。

図G 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の推移



続いて輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2020年1～3月期の「子供車」の輸入平均 CIF 単価は8,891円となっており、前年同期の9,370円から5.1%下落した。平均単価は前年同期比で下落が続いている事がわかる。

表2-2-2-3 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
平均 CIF 単価(円)	9,004	8,651	8,741	8,891
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
平均 CIF 単価(円)	9,046	9,477	9,294	9,370

表2-2-2-4 「子供車」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(円)	-42	-826	-554	-479
前年同期比%	-0.5	-8.7	-6.0	-5.1

更に輸入金額について見てみると、2019年10～12月期の「子供車」の輸入 CIF 金額は22億1,212万1千円となり前年同期比34.3%と大きく減少した。台数の場合と同様、金額も前四半期までの対前年比増加傾向から一転し、今期は前年同期比で大幅に減少した。この22億1,212万1千円という輸入金額は、やはりここで示した8四半期の中で最も少ない数値である。

表2-2-2-5 「子供車」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
輸入 CIF 金額(千円)	4,050,847	3,094,514	3,003,999	2,212,121
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
輸入 CIF 金額(千円)	3,797,290	2,984,337	2,948,363	3,366,519

表2-2-2-6 「子供車」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(千円)	+253,557	+110,177	+55,636	-1,154,398
前年同期比%	+6.7	+3.7	+1.9	-34.3

2-2-3 「軽快車」の輸入状況

「軽快車」の輸入状況を以下に示す。2020年1～3月期には、輸入台数が前年同期比20.1%減少したことが示されている。前年同期と比較した四半期毎の輸入台数は前四半期から2期連続で比較的大きな減少が示されている。

表 2-2-3-1 「軽快車」の輸入台数の動向

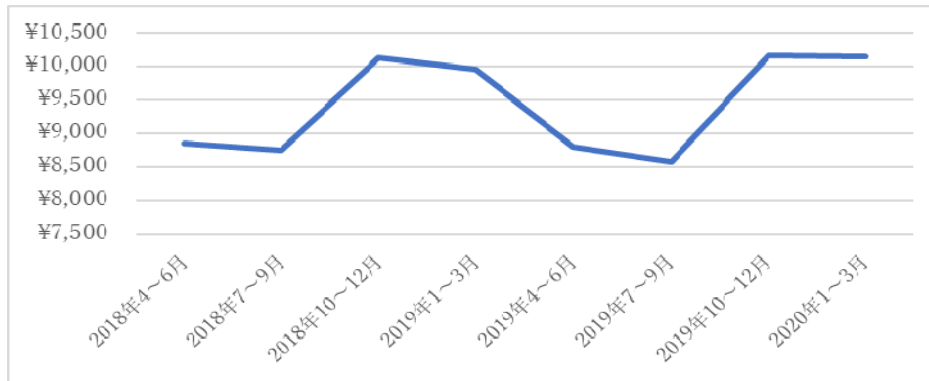
四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入台数(台)	373,720	339,589	384,076	458,020
前年同四半期	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月
輸入台数(台)	372,431	337,447	439,812	573,283

表 2-2-3-2 「軽快車」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(台)	+1,289	+2,142	-55,736	-115,263
前年同期比(%)	+0.3	+0.6	-12.7	-20.1

次に「軽快車」の自転車の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている 2018 年 4~6 月期から 2020 年 1~3 月期までの 8 四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図 H に示す。生産の場合と同様、季節性が表れており、秋から冬にかけて比較的高価なものを輸入し、春から夏にかけては比較的安価なものを輸入するという特徴がわかる。但し、前述のとおり変化の度合いは生産の場合より小さい。

図 H 「軽快車」の輸入平均 CIF 単価の推移



続いて輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2020 年 1~3 月期の「軽快車」の輸入平均 CIF 単価は 10,149 円となっており、前年同期の 9,947 円から 2.0%上昇した。前四半期から 2 四半期連続で、僅かではあるが対前年同期比で上昇を示している。

表 2-2-3-3 「軽快車」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
平均 CIF 単価(円)	8,793	8,566	10,165	10,149
前年同四半期	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月
平均 CIF 単価(円)	8,844	8,744	10,119	9,947

表 2-2-3-4 「軽快車」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(円)	-51	-178	+46	+202
前年同期比%	-0.6	-2.0	+0.4	+2.0

更に輸入金額について見てみると、2020 年 1~3 月期の「軽快車」の輸入 CIF 金額は 46 億 4,845 万 8 千円となり前年同期比 18.5%減少した。金額は 4 四半期連続で前年同期比減少しており、その減少の度合いは期を追うごとに大きくなっている。

表 2-2-3-5 「軽快車」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入 CIF 金額(千円)	3,286,185	2,909,085	3,903,952	4,648,458
前年同四半期	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月
輸入 CIF 金額(千円)	3,293,710	2,950,654	4,450,461	5,702,659

表 2-2-3-6 「軽快車」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(千円)	-7,525	-41,569	-546,509	-1,054,201
前年同期比%	-0.2	-1.4	-12.3	-18.5

2-2-4 「その他」の輸入状況

スポーツ車や外装変速機付軽快車が含まれる「その他」の輸入状況を以下に示す。2020年1~3月期の輸入台数は571,308台であった。1~3月期としては少ない数値であり、前年同期比19.6%減少という結果である。輸入台数は前四半期まで3四半期連続で前年同期比増加していたが、今期は大幅な減少となった。

表 2-2-4-1 「その他」の輸入台数の動向

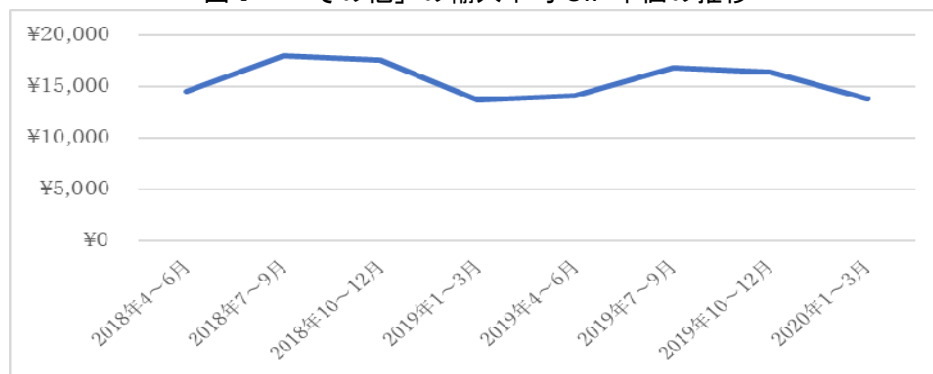
四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入台数(台)	562,632	482,381	462,746	571,308
前年同四半期	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月
輸入台数(台)	510,554	442,353	450,740	710,604

表 2-2-4-2 「その他」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(台)	+52,078	+40,028	+12,006	-139,296
前年同期比(%)	+10.2	+9.0	+2.7	-19.6

次に「その他」の自転車の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている2018年4~6月期から2020年1~3月期までの8四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図 I に示す。7~9月期と10~12月期が比較的高く、1~3月期と4~6月期が比較的低いように見受けられる。

図 I 「その他」の輸入平均 CIF 単価の推移



続いて輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2020年1~3月期の「その他」の輸入平均 CIF 単価は13,779円となっており、前年同期の13,702円から0.6%上昇した。輸入平均 CIF 単価は前四半期まで3四半期連続で前年同期比下落を示していたが、今四半期は僅かではあるが上昇に転じている。

表 2-2-4-3 「その他」の輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
平均 CIF 単価(円)	14,090	16,831	16,399	13,779
前年同四半期	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月
平均 CIF 単価(円)	14,503	17,947	17,520	13,702

表 2-2-4-4 「その他」の輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(円)	-413	-1,116	-1,121	+77
前年同期比%	-2.8	-6.2	-6.4	+0.6

更に輸入金額について見てみると、2020年1~3月期の「その他」の輸入 CIF 金額は 78 億 7,231 万 1 千円となり前年同期比 19.1%と大幅に減少した。輸入金額は 2019年4~6月期、2019年7~9月期と前年同期比増加を示していたが、前四半期から減少に転じている。

表 2-2-4-5 「その他」の輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入 CIF 金額(千円)	7,927,487	8,118,954	7,588,415	7,872,311
前年同四半期	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月
輸入 CIF 金額(千円)	7,404,455	7,938,859	7,896,840	9,736,863

表 2-2-4-6 「その他」の輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(千円)	+523,032	+180,095	-308,425	-1,864,552
前年同期比%	+7.1	+2.3	-3.9	-19.1

2-2-5 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入状況

最後に参考まで「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入状況を示す。2020年1~3月期には、輸入台数が前年同期比 0.3%減少したことが示されている。輸入台数は前四半期まで継続的な増加が示されていたが、今四半期は僅かながら減少に転じている。また 2019年10~12月期の輸入台数が、対象 8 四半期の中では比較的多かったこともわかる。

表 2-2-5-1 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入台数の動向

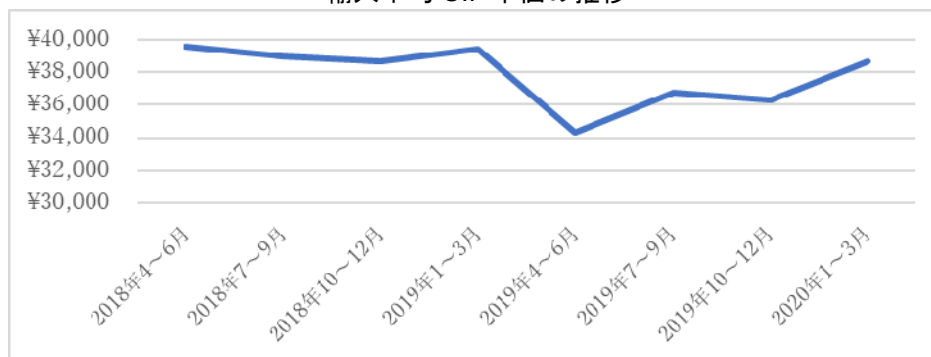
四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
輸入台数(台)	84,074	98,639	117,500	83,172
前年同四半期	2018年4~6月	2018年7~9月	2018年10~12月	2019年1~3月
輸入台数(台)	77,992	87,386	87,312	83,382

表 2-2-5-2 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入台数の前年同期比

四半期	2019年4~6月	2019年7~9月	2019年10~12月	2020年1~3月
実数比(台)	+6,082	+11,253	+30,188	-210
前年同期比(%)	+7.8	+12.9	+34.6	-0.3

次に「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均 CIF 単価を見る。対象としている 2018年4~6月期から 2020年1~3月期までの 8 四半期の輸入平均 CIF 単価の推移を図 J に示す。2019年4~6月期に大きく下落した後、回復傾向を示している。

図J 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入平均 CIF 単価の推移



続いて輸入平均 CIF 単価の四半期毎の推移を見ると、2020年1～3月期の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入平均 CIF 単価は 38,648 円となっており、前年同期の 39,397 円から 1.9%下落した。輸入平均 CIF 単価は 4 四半期連続で前年同期比下落を示している。

表 2-2-5-3 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入平均 CIF 単価の動向

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
平均 CIF 単価(円)	34,330	36,743	36,280	38,648
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
平均 CIF 単価(円)	39,598	38,932	38,689	39,397

表 2-2-5-4 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入平均 CIF 単価の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(円)	-5,267	-2,189	-2,408	-749
前年同期比%	-13.3	-5.6	-6.2	-1.9

更に輸入金額について見てみると、2020年1～3月期の「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の輸入 CIF 金額は 32 億 1,443 万 4 千円となり前年同期比 2.1%減少した。前四半期の増加幅が際立っていたことがわかる。

表 2-2-5-5 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入 CIF 金額の動向

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
輸入 CIF 金額(千円)	2,886,270	3,624,289	4,262,945	3,214,434
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
輸入 CIF 金額(千円)	3,088,293	3,402,070	3,377,980	3,284,995

表 2-2-5-6 「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」の
輸入 CIF 金額の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(千円)	-202,023	+222,219	+884,965	-70,561
前年同期比%	-6.5	+6.5	+26.2	-2.1

3. 国内向け数量

我が国の完成自転車輸出はその殆ど全てが中古車の途上国向け輸出であるため、「生産台数」と「輸入台数」の合計が「国内向け数量」と考えられる。「国内向け数量」の前年同期比を見ると2019年4～6月期及び2019年7～9月期は増加したものの、前四半期に僅かな減少に転じ、今四半期は20.3%と大きく減少している。

表3-1 「国内向け数量」の動向

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
国内向け数量(台)	1,827,038	1,554,705	1,645,888	1,669,851
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
国内向け数量(台)	1,742,955	1,446,762	1,652,950	2,096,168

出典：経済産業省生産動態統計調査（2018年数値は確定後遡及修正反映数値 2019年数値は確定値）
財務省貿易統計（2018年2019年数値は確定後数値） 加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
（生産には「電動アシスト車」を含み、輸入には「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」を含まない）
表3-2も同様

表3-2 「国内向け数量」の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(台)	+84,083	+107,943	-7,062	-426,317
前年同期比(%)	+4.8	+7.5	-0.4	-20.3

4. 我が国の自転車輸出

我が国の自転車輸出は途上国向けの中古自転車が殆どである。

2020年1～3月期の総輸出台数は703,025台となり前年同期から3.7%減少した。これらの模様を過去4四半期にまでさかのぼり表4-1及び表4-2に示す。

表4-1 我が国自転車総輸出台数の動向

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
総輸出台数(台)	808,971	704,895	866,289	703,025
前年同四半期	2018年4～6月	2018年7～9月	2018年10～12月	2019年1～3月
総輸出台数(台)	825,157	699,411	834,374	729,774

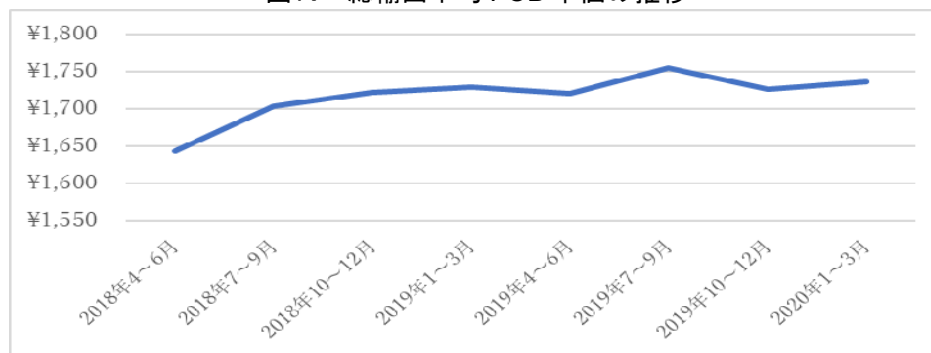
出典：財務省貿易統計（2018年2019年数値は確定後数値）、加工分析：一般財団法人自転車産業振興協会
以下、輸出統計数値は全て同様。

表4-2 我が国自転車総輸出台数の前年同期比

四半期	2019年4～6月	2019年7～9月	2019年10～12月	2020年1～3月
実数比(台)	-16,186	+5,484	+31,915	-26,749
前年同期比(%)	-2.0	+0.8	+3.8	-3.7

次に全ての車種の輸出平均FOB単価を見る。対象としている2018年4～6月期から2020年1～3月期までの8四半期の総輸出平均FOB単価の推移を図Kに示す。2019年10～12月期は下落したものの、全体的には上昇傾向にあるように見受けられる。

図K 総輸出平均 FOB 単価の推移



続いて輸出平均 FOB 単価を見ると、2020 年 1～3 月期の完成自転車総輸出平均 FOB 単価は 1,737 円となっており、前年同期の 1,729 円から 0.5%上昇した。これらの模様を同じく過去 4 四半期にまでさかのぼり表 4-3 及び表 4-4 に示す。前年同期と比較した四半期毎総輸出平均 FOB 単価は 4 四半期連続で上昇した。また、平均 FOB 単価を見ればこれらの自転車輸出は中古自転車輸出である事は明らかである。

表 4-3 我が国自転車総輸出平均 FOB 単価の動向

四半期	2019 年 4～6 月	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月
平均 FOB 単価(円)	1,720	1,755	1,727	1,737
前年同四半期	2018 年 4～6 月	2018 年 7～9 月	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月
平均 FOB 単価(円)	1,644	1,703	1,722	1,729

表 4-4 我が国自転車総輸出平均 FOB 単価の前年同期比

四半期	2019 年 4～6 月	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月
実数比(円)	+77	+52	+6	+8
前年同期比%	+4.7	+3.0	+0.3	+0.5

尚、四捨五入の関係で合計が一部合致しない場合がある。

更に総輸出金額について見てみると、2020 年 1～3 月期の完成自転車総輸出 FOB 金額は 12 億 2,147 万 6 千円となり前年同期比 3.2%減少した。これらの模様をやはり過去 4 四半期にまでさかのぼり表 4-5 及び表 4-6 に示す。金額は前年同期比で増加傾向が続いていたが、今四半期は減少に転じた。

4-5 我が国自転車総輸出 FOB 金額の動向

四半期	2019 年 4～6 月	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月
総輸出 FOB 金額(千円)	1,391,595	1,236,890	1,496,455	1,221,476
前年同四半期	2018 年 4～6 月	2018 年 7～9 月	2018 年 10～12 月	2019 年 1～3 月
総輸出 FOB 金額(千円)	1,356,227	1,191,129	1,436,424	1,262,032

表 4-6 我が国自転車総輸出 FOB 金額の前年同期比

四半期	2019 年 4～6 月	2019 年 7～9 月	2019 年 10～12 月	2020 年 1～3 月
実数比(千円)	+35,368	+45,761	+60,031	-40,556
前年同期比%	+2.6	+3.8	+4.2	-3.2

尚、輸出に関する分析では「駆動原動機として電動機を有するモーターサイクル」は対象から除外している。

以上